2007年3月期決算説明会

COPAL ELECTRONICS
All for dreams

日本電産コパル電子株式会社

2007年4月26日

http://www.nidec-copal-electronics.com

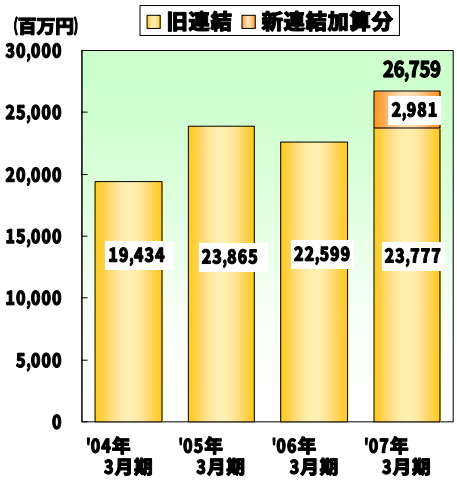
Ⅰ．業績のポイント

	実績	前期比		実績	前期比
売上高	267.5億円	+18.4%	(旧連結：	237.7億円、	+5.2%)
営業利益	34.7億円	-4.3%	(旧連結：	34.0億円、	-6.1%)
当期利益	22.8億円	-10.9%	(旧連結：	22.6億円、	-11.6 %)

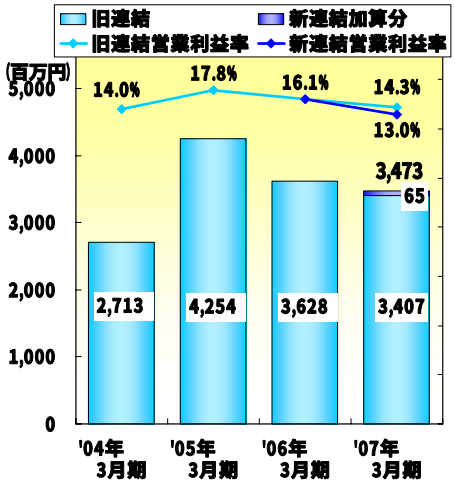
- ✓ モータ部門を除き、増収達成。
  回路部品　+53%（旧連結：+13%）、圧力センサ+22%。
- ✓ モータ部門は遊技機器市場の平静化により-14%の大幅減収。
- ✓ 営業利益は前期比　-1.5億円、
  のれん償却費　1.6億円を補いきれず、減益。

◆連結業績推移①

売上高

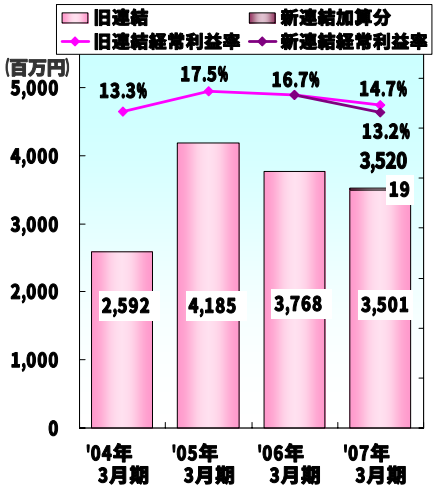


営業利益

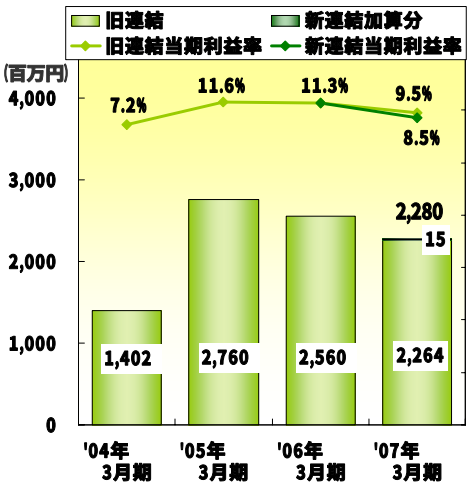


◆連結業績推移②

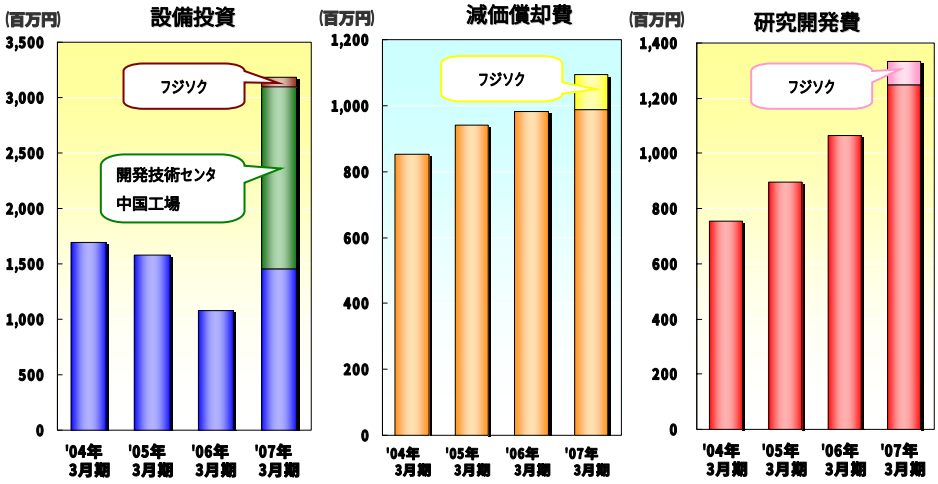
経常利益



当期利益



◆設備投資／減価償却費／研究開発費の推移



◆財政状態

(単位:百万円)

	'06年3月末	'07年3月末	差異
総資産	26,592	34,343	+7,751
流動資産	17,427	20,171	+2,744
固定資産	9,164	14,171	+5,006
負債	7,068	13,599	+6,531
純資産	19,503	20,744	+1,240

◆連結キャッシュフローの状況　と　1株当たり当期純利益

(単位:百万円)

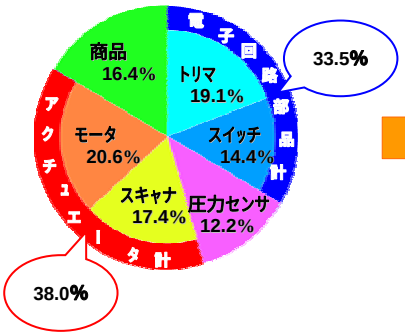
	'06年3月期	'07年3月期
営業活動	3,649	3,217
投資活動	-1,706	-2,677
FCF	1,942	539
財務活動	-760	-2,937
現金及び現金同等物	6,382	4,009

(単位:円)

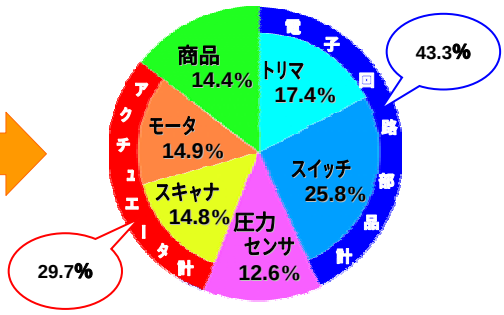
	'06年3月期	'07年3月期
1株当たり当期純利益	37.23	34.40

◆連結売上構成比

’06年3月期

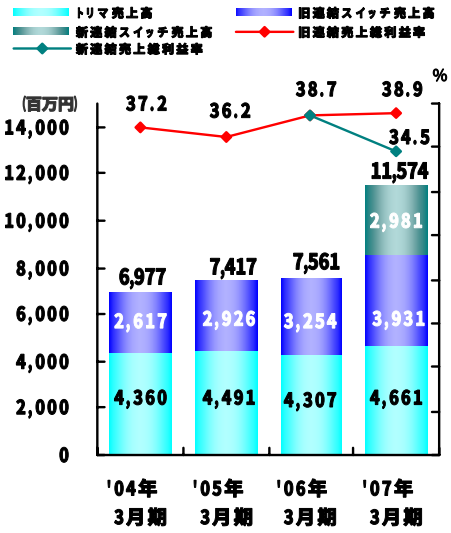


’07年3月期

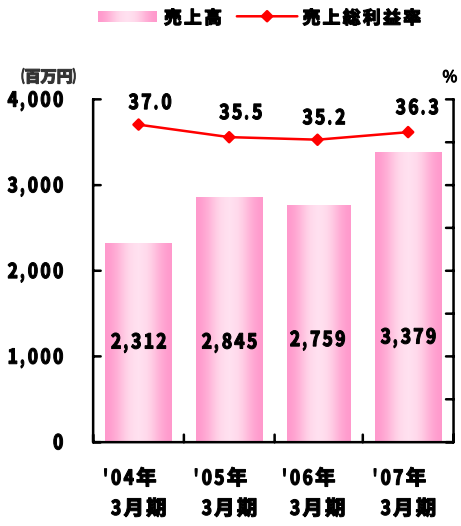


◆事業部門別

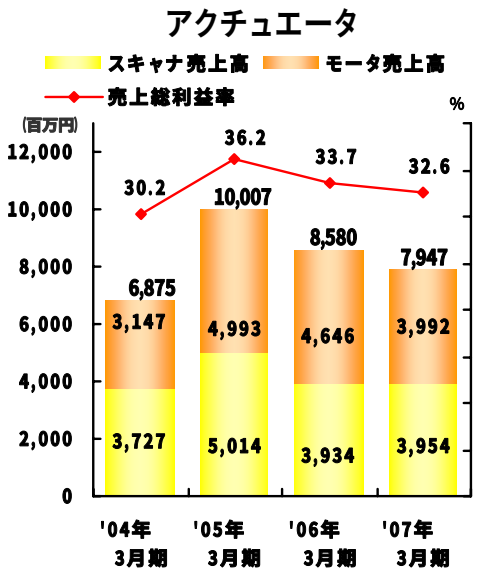
回路部品

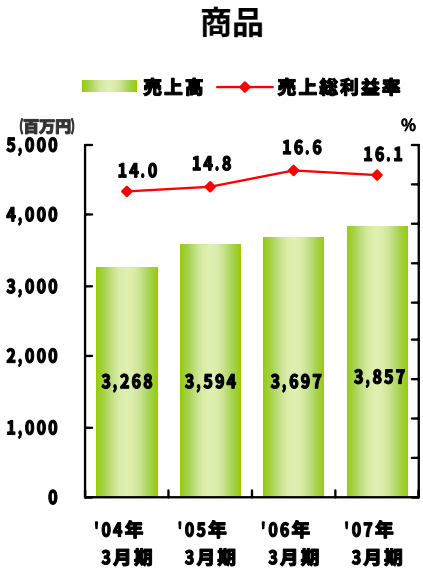


圧力センサ



◆事業部門別

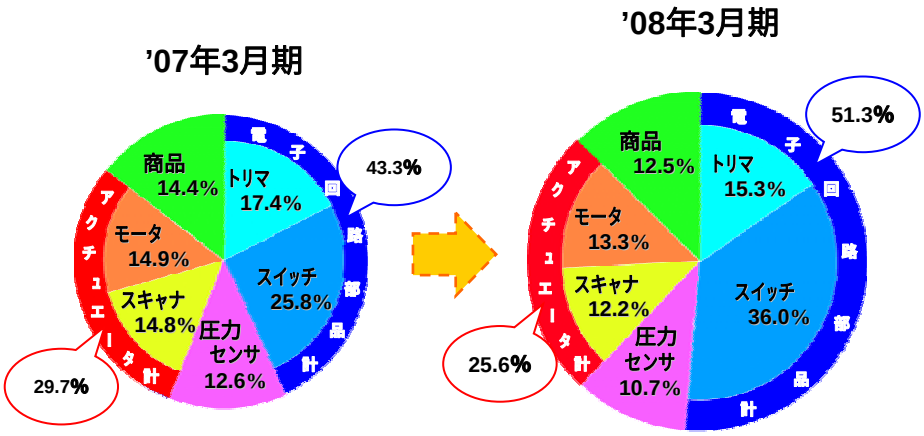




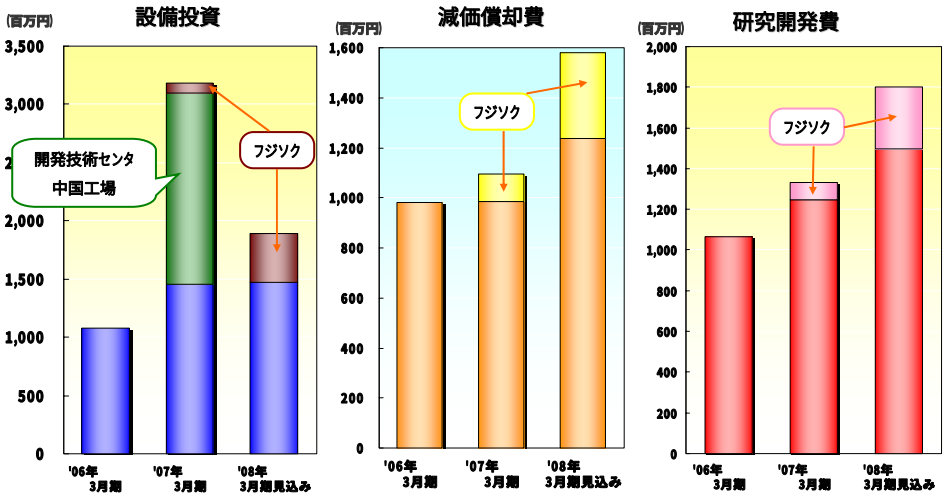
II．2008年3月期計画

	'07年3月期	'08年3月期 見込み	増減額	増減率
売上高 (百万円)	26,759	32,000	+5,241	+19.6%
営業利益 (百万円)	3,473	3,800	+327	+9.4%
経常利益 (百万円)	3,520	3,800	+280	+7.9%
当期純利益 (百万円)	2,280	2,300	+20	+0.8%
1株当たり 当期純利益 (円)	34.40	34.69	+0.29	――

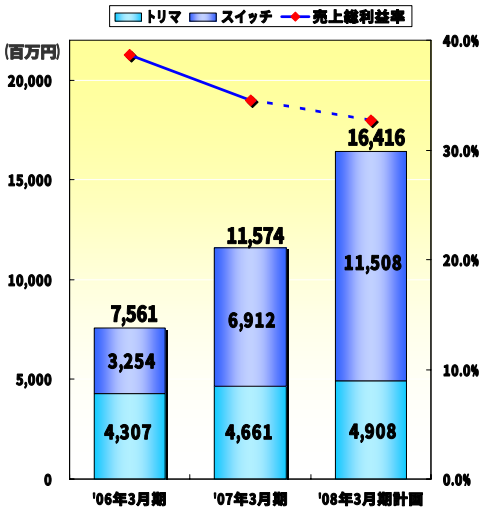
◆連結売上構成比計画



◆設備投資／減価償却費／研究開発費の推移



電子回路部品



- 売上高　164億円
  前期比+42%計画

  旧連結も+10%計画
- スイッチ部門は
  6期連続の二桁成長

電子回路部品

1. 新市場・新規顧客開拓と
   既存顧客への拡販
   回路保護部品を拡充

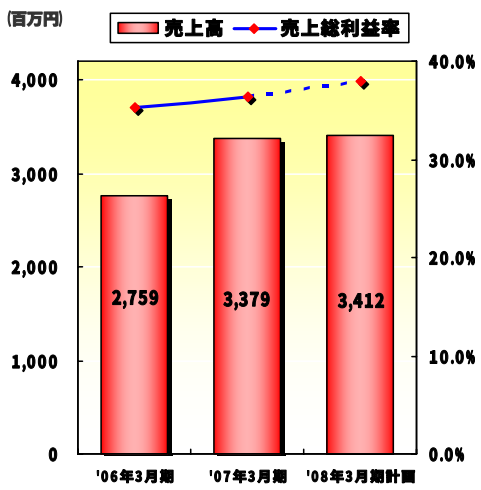
2. 操作用スイッチ事業を早期に高収益体制に

外部生産委託品を自社工場へ移管

品質問題の改善

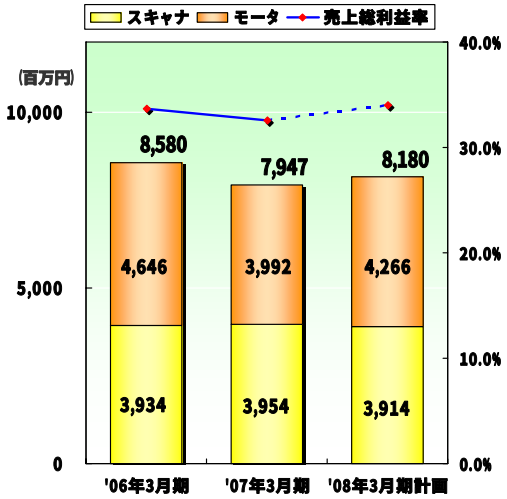
新製品の投入

圧力センサ



- 売上高は前期並を計画
- 韓国市場への売上拡大
- 新シリーズ製品
  - 高温センサ250℃
  - 集積化ガス用センサ

アクチュエータ



- 売上高は前期並を計画
- 既存市場
  - 小型化
  - 高付加価値製品の投入
- 新市場･新顧客への提案強化

事業成長へ向けての中期的施策

1) 開発インフラの拡充・整備完了
開発技術センター、開発要員強化、事業本部制導入

2) 新事業領域への積極的な展開
高周波デバイス、薄膜応用製品、次世代センサ

3) 付加価値製品への転換
中国生産活用によるF社SWの付加価値向上
(現地調達、部品内製化)

COPAL ELECTRONICS
All for dreams

ありがとうございました

COPAL ELECTRONICS
All for dreams

日本電産コパル電子株式会社

本ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ資料及び質疑応答時の回答には、将来に関する見通し、期待、判断、計画或いは戦略などが含まれています。この将来予測に基づく記載や発言は製品の需要変動、開発・生産能力、為替変動、関係会社の業績及びその他のリスクや不確定要素を含んでおります。こうした将来予測に基づく記載や発言はその時点における入手可能な情報に基づくものであり、私達はこれを更新する義務を負いませんし、計画の実現を確約したり、将来の業績を保証するものではありません。